Amigo OINFOR

わんちゃんの お手入れ vol.2

耳そうじ・爪切り

日頃のお手入れを通じて愛犬とのコミュニケーションを とったり、体の異変にいち早く気づいてあげましょう。



C-02











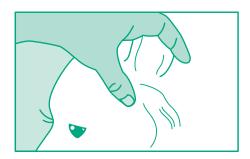


耳そうじ

わんちゃんの耳は長毛種(プードル、シーズーやシュナウザー)の場合、耳の中に毛が生えてきます。耳の中の毛を抜かないと蒸れやすくなり、耳の病気になる可能性があります。耳の中に毛が生えなくても垂れ耳のわんちゃん(キャバリア、ゴールデン、ダックスなど)の場合も耳が蒸れやすい種類になります。

ですので、定期的な耳そうじが必要になります。

毛がある場合は、まずは少しずつ毛を抜いてあげます。 人差し指と親指で抜きます。この時、イヤーパウダーを使うと滑り止めになりスムーズに抜く事ができます。また、耳の奥の毛や耳穴が小さい場合はカンシを使うと抜きやすいですが、わんちゃんが動いたりすると皮膚をはさんだり突いてしまったりすることもあるので注意が必要です。



コットンにイヤーローションをつけて指で軽くふいてあげましょう。 綿棒を使うと細かくふくことはできますが、耳の皮膚はとてもデリケート ですし、また耳アカがあると耳の奥に入っていってしまう可能性があるの でおすすめはできません。



爪切り

小型犬の場合は月に1回程度爪切りをしてあげるのが理想的です。爪切りを行わないとフローリングなどで滑ったりまた、肉球に爪がささってしまい歩行困難になります。また、爪が伸びると中にある血管と神経まで同時に伸び、少し爪を切ると出血してしまうようになります。



爪切りを行う肉球を、爪切りを 持っていない手でしっかりと固 定して押さえます。



- わんちゃんの爪を確認します。白い爪の場合はよく見ると血管が透けていますので、血管の手前まで切ればOKです。黒い爪の場合はどこまで血管があるかわからないので少しずつ切りましょう。その後、少しずつ角度を変えながら爪がなるべく丸くなるように切っていきます。血管を傷つけないように確認してくださいね。
- 最後にヤスリをかけて爪の角をとります。ヤスリで肉球を傷つけないよう に注意しましょう。

※万が一、出血した場合は止血剤で血を 止めます。

※切りすぎて出血してしまうと次から 爪切りを嫌がってしまうかもしれません。

不安な場合は少し長めにしておきます。

※5本目の爪→狼爪について・地面につかない場所に狼爪(ろうそう)と呼ばれる5本目の爪があるわんちゃんがいます。この爪は地面につかないため、削れることがないので切り忘れないようにしましょう。